

山武市職員定員適正化計画の改定について

(平成 30 年 3 月策定)

山 武 市
平成 30 年 3 月

目 次

1. 改定の理由
2. 第2次山武市職員適正化計画（改定）との実績の比較
3. 年度ごとの目標定員
4. その他資料
 - （1）職員数の現状分析
 - （2）山武市の職員数と統計指標の比較
 - （3）部門別職員数の状況（類似団体との比較）
 - （4）類似団体「市Ⅱ－1」の県内他市との比較
 - （5）部門別職員数の推移

山武市職員定員適正化計画の改定について

(平成 30 年 3 月)

1 改定の理由

山武市は合併以来、行財政健全化に向けて、経費の節減等による削減、事務事業の見直しや民間委託の推進等による効率的な行政運営の推進とあわせ、平成 23 年度の職員数を基準として、平成 29 年度における定員目標を 449 人とする計画の達成に向けて努めてきました。

しかしながら、2020 年に開催される東京オリンピック・パラリンピックに向けた取り組みや学校再編の推進、また、今後もまち・ひと・しごと創生総合戦略、専門的な知識経験者による防災・危機管理対策業務の充実などの行政需要の増加が見込まれることから、今日、職員定員の削減が困難な状況にあります。

本市を取り巻く環境は、急速な高齢化、人口減少社会の到来が予想され、それに伴う新たな行政需要も見込まれ、これに対応していくためには事務事業の改革改善を行うとともに適正な定員管理による効率的な組織運営が求められています。

そこで、職員定員の適正化は、事務事業の執行と密接に関係することから、次期定員適正化計画の策定は、平成 31 年度を初年度とする次期総合計画の策定に合わせて行うこととし、今回は、現行の山武市定員適正化計画(平成 23 年度～平成 29 年度)を改定し計画年度を平成 31 年度までとし、山武市第 2 次総合計画と連動させることで、より一層効果的な適正化を推進するため今回改定を行うものです。

第 2 次山武市職員定員適正化計画（平成 23 年度～平成 29 年度）と実績の比較

(単位：人)

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	合計
目標定員	472	478	479	463	457	450	449	—
削減数	0	6	1	△16	△6	△7	△1	△23
実績（各年度 4 月 1 日現在）	472	474	469	464	457	446	447	—
削減数	0	2	△5	△5	△7	△11	1	△25
目標と実績の差	0	△4	△10	1	0	△4	△2	—

山武市職員定員適正化計画（第 2 次）では、平成 23 年度から平成 29 年度までの 7 年間で 23 人の削減を目標としていましたが、実績として 25 人の削減となりました。

2 山武市職員定員適正化計画の改定

平成 29 年度までの計画期間を 2 年間延長し、平成 30 年度から平成 31 年度までの定員目標を以下のとおり設定します。

なお、次期定員適正化計画の策定は、今後の社会情勢の変化や新たな課題に対応できるよう、次期総合計画の策定に合わせて行います。

年度ごとの目標定員（改定後）

	H29	H30	H31	H32	合計
目標定員（4/1）	449	452	453	454	—
年度中退職者	20	11	5	14	—
年度中採用者	0	0	0	—	—
翌年度採用者	23	12	6	—	—

（参考）職員数の現状分析

山武市の平成 28 年 4 月 1 日現在の総職員数は 446 人、統計上の分類として、一般行政部門では 331 人、普通会計ベースでは 406 人となっています。

類似団体別職員数は、すべての市区町村を対象として、その人口と産業構造を基準に類型分類し、その類型に属する市区町村の人口当たりの職員数の平均により算出する指標です。

地方公共団体定員管理調査（平成 28 年 4 月 1 日）における類似団体別職員数は普通会計の単純値で 435 人、修正値で 372 人となっています。平成 28 年度の山武市職員の普通会計の実数は 406 人なので、単純値では▲29 人、修正値では 34 人上回っています。

また、山武市は、類似団体「市Ⅱ－１」の分類に属するが、同分類に属する団体は、全国で 80 団体あり、その中で、人口 1 万人当たりの職員数において、37 番目となっており、山武市の職員数は類似団体と比較してほぼ平均の値といえます。

山武市の職員数と統計指標の比較

（単位：人）

区分			統計上の分類（地方公共団体定員管理調査）		
			普通会計 +公営企業会計	普通会計	一般行政部門
			派遣職員除く 教育長含む	派遣職員除く 教育長含む	派遣職員除く
山武市職員数（H28. 4. 1）			446	406	331
指標	類似団体別	単純値	—	435	324
	職員数	修正値	—	372	296

部門別職員数の状況（類似団体との比較）

（単位：人）

	議会	総務	税務	民生	衛生	農林 水産	商工	土木	一般 行政計
類似団体平均 (a)	5	94	25	89	34	25	13	39	324
山武市 (b)	5	109	31	100	33	21	5	27	331
差 (b)－(a)	0	15	6	11	△1	△4	△8	△12	7

（平成 28 年 4 月 1 日現在）

類似団体平均と比べ単純値では、一般行政の職員が 7 人多いという状況です。これは、合併市である山武市には出先機関があること、また直営で包括支援センターを運営していること、加えて他団体への派遣などが多いことなどが考えられます。

類似団体「市Ⅱ－１」の県内他市との比較

	合併・非合併	団体名	住基人口 (H28.1.1)	面積 (km ²)	普通会計職 員数 (H28.4.1)	人口1万人 当たり職員数 (H28.4.1)
1	合併市	山武市	54,139	146.77	406	74.99
2	合併市	旭市	67,598	130.45	623	92.16
3	合併市	香取市	80,015	262.35	567	70.86
4	合併市	印西市	95,040	123.79	608	63.97
5	非合併市	大網白里市	50,409	58.08	353	70.03
6	非合併市	八街市	72,713	74.94	487	66.98
7	非合併市	東金市	60,335	89.12	440	72.93
8	非合併市	銚子市	65,546	84.19	574	87.57
	合併市平均 (山武市除く)		80,884	172.19	599	75.66
	非合併市平均		62,250	76.58	463	74.37
	千葉県平均 (山武市除く)		70,236	117.56	521	74.92
	全国平均	Ⅱ－１合計	5,595,612		44,978	80.38

山武市が属する類似団体「市Ⅱ－１」における県内他市との比較では、人口1万人当たりの職員数において、8団体中6番目となっており、職員数が多い傾向にありますが、全国平均との比較では、5.39人少ないことがわかります。

類似団体「市Ⅱ－１」の分類については、人口が5万人以上10万人未満、産業構造Ⅱ次・Ⅲ次90%未満かつⅢ次55%以上とされていることから山武市の人口が54,139人であり、県内他市の中でも人口が少ないこと、面積や地形など地域の特性が加味されていないことも一つと考えられます。

部門別職員数の推移

(単位：人)

	H24	対前年 削減	H25	対前年 削減	H26	対前年 削減	H27	対前年 削減	H28
議会	5	1	6	0	6	△ 1	5	0	5
総務	104	0	104	4	108	3	111	△2	109
税務	40	△ 4	36	△ 2	34	△ 2	32	△1	31
労働	0	0	0	0	0	0	0	0	0
農林水産	24	△ 1	23	△ 1	22	△ 1	21	0	21
商工	8	0	8	0	8	0	8	△3	5
土木	30	0	30	0	30	△ 1	29	△2	27
小計	211	△ 4	207	1	208	△ 2	206	△8	198
民生	89	0	89	△ 1	88	11	99	1	100
衛生	41	△ 3	38	△ 1	37	△ 3	34	△1	33
小計	130	△ 3	127	△ 2	125	8	133	0	133
一般行政計	341	△ 7	334	△ 1	333	6	339	△8	331
教育	94	0	94	△ 3	91	△ 13	78	△3	75
消防	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別行政計	94	0	94	△ 3	91	△ 13	78	△3	75
病院	3	0	3	0	3	0	3	0	3
水道	6	1	7	△ 1	6	0	6	0	6
下水道	1	0	1	0	1	0	1	0	1
その他	29	1	30	0	30	0	30	0	30
公営企業計	39	2	41	△ 1	40	0	40	0	40
総合計	474	△ 5	469	△ 5	464	△ 7	457	△11	446

(各年 4 月 1 日現在)